



連絡先

日越大学・学務課

所在地: My Dinhキャンパス

Luu Huu Phuoc通り, My Dinh I, Nam Tu Liem, Hanoi

電話番号: (+84) (0)47-306-6001

メールアドレス: admission@vju.ac.vn

ウェブサイト:

www.vju.ac.vn

www.vju.vnu.edu.vn

独立行政法人国際協力機構 (JICA)の支援



本教育プログラムに参画している日本の幹事大学



その他の協力大学



ベトナム国家大学ハノイ校

日越大学

2017-2018年

～ベトナムと日本の
友好関係の象徴・
教育の架け橋へ～





目次

日越大学学長からのご挨拶

日越大学について

設立の経緯

役割

特徴

目指す方向性

2017-2018年期の修士課程プログラムについて

概要

修士課程プログラムの紹介

地域研究プログラム

企業管理プログラム

公共政策プログラム

ナノテクノロジープログラム

社会基盤プログラム

環境工学プログラム

気候変動・開発プログラム

修士課程プログラムの学費支援・奨学金制度

募集情報

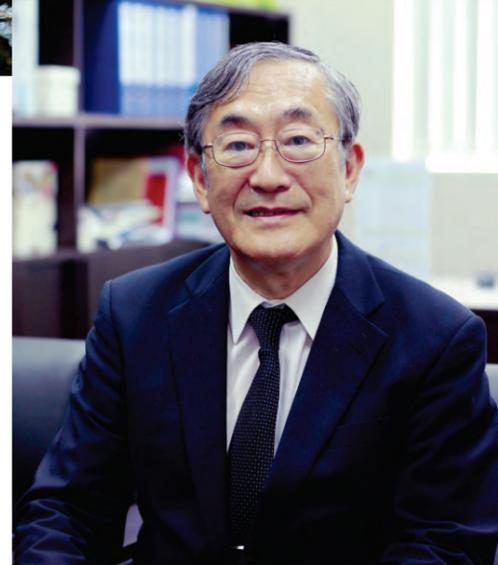
科学技術活動

主要な活動

学生からの声

日本側の主要支援機関及び連携企業

キャンパス案内



日越大学学長からのご挨拶

2014年7月21日、ベトナム政府は、ベトナム国家大学ハノイ校の7校目の傘下大学として日越大学設立を決定し、グエン・タン・ズン首相（当時）が決定書に署名しました。本校はベトナムにおいて新たなモデル大学となり、いち早く世界水準の大学へ成長し、ベトナムと日本の友好関係の象徴になることが期待されています。

ベトナム国家大学ハノイ校を構成する大学として、日越大学は国家大学の既存のリソースや強みを生かすことが出来ます。また、日本では、東京大学、大阪大学、筑波大学、横浜国立大学、立命館大学、早稲田大学、茨城大学が幹事大学として、更に複数の大学が協力大学として、日越大学と深い協力関係を構築しています。

本校は、アジア諸国や世界に開かれた大学として、グローバルな課題解決に向け国際レベルで活躍できる人材を輩出することを目指しています。また、学生は世界の有名大学の博士課程への進学、或いは政府機関、教育機関、研究機関、国際機関及び多国籍企業、特に日本の企業へ就職ができるために必要な能力やスキルの育成を目指しています。

現在、ベトナムや世界の情勢は大きく変化しています。急速に変化する社会での人生は、これまでの常識が通用しない、「羅針盤なき航海」という面があります。「羅針盤なき航海」に堪えるためには視野を広くすることが必要です。このため、日越大学では、地域研究、企業管理、公共政策、ナノテクノロジー、社会基盤、環境工学及び気候変動・開発の7プログラムの修士課程を開設しました。これらの7プログラムが文理横断型プログラムとなっており、7プログラムの修士課程をつなげる教育領域がサステナビリティ学です。

本校は、高い教育水準を目指して、日本の幹事大学から提供されたカリキュラムをベースに本校独自のカリキュラムを策定し、日本の幹事大学、ベトナム国家大学ハノイ校、その他の国内外のトップ大学の優秀な教員が教育をおこないます。また、研究や教育について、グローバルに活躍できる若手教員の育成も目指しています。

日越両国政府及びベトナム国家大学ハノイ校と日本のトップ大学との協力関係や支援のもと、本校は質の高い教育に必要な教育体制や国際的レベルの環境を備えることにより、優秀な研究者や学生による研究・学習・創造を支援しています。

向上心を持って世界に羽ばたきたいという若い皆さん、是非、日越大学に集まって、同大学をベトナムのCenter of Excellenceとして、ベトナムと日本のモデルとなる大学と一緒に一つ一つ行きましょう。

日越大学学長 古田元夫



日越大学について

設立の経緯

日越関係は、1973年の国交樹立後40年余りが経ち、あらゆる分野にわたり発展し続けています。2009年、両国はその関係を「戦略的パートナーシップ」のレベルへと引き上げました。これは、両国の政治的信頼、友好関係が広範な分野にわたって発展したことを意味します。

日本は特に科学技術の分野において強みを持つ先進国です。日本には、世界的に権威のあるトップ大学が数多くあります。日本はベトナムの経済・社会の発展において、常に重要な役割を果たす存在となっています。2015年、日本はベトナムに対してODA抛出国として第1位、外国直接投資国として第2位になりました。

ドイモイ政策導入後約30年が経過し、ベトナムは経済・社会の面において数多くの成果を遂げてきました。しかし、近年、経済成長率は鈍化しつつあり、将来的に、更に持続的な高度成長を達成するためには、ベトナムは科学技術及び高度な知識を持った人材が中心となる新しい推進力を必要としています。このような状況のもとで、日越大学を設立することは多くの意義があります。日越大学はベトナムの経済、社会の発展のための新しい推進力の拠点になるとともに、ベトナムに進出する日系企業に貢献することが期待されています。また、ベトナムと日本両国の文化・学術の交流拠点として、大きな役割を果たすことも期待されています。

重要なマイルストーン

- 2009年 ハノイで開催された第1回日越学長会議において、ベトナム政府がベトナムと日本両国の協力による大学の設立を提案
- 2010年 日越両国政府が、「ベトナムに日本の協力を得て質の高い大学を設立することを検討する」との項目が盛り込まれた日越共同声明を公表
- 2012年 日越友好議員連盟、独立行政法人国際協力機構、ベトナム日本経済フォーラム及びベトナム国会大学ハノイ校の支援のもと、日越大学プロジェクトの予備調査を実施
- 2013年 グエン・タン・ズン首相(当時)と安倍晋三首相が日越大学の設立構想の実現に合意
- 2014年 グエン・タン・ズン首相(当時)がベトナム国家大学ハノイ校の7番目の大学としての日越大学の設立に関する決定書1186/QD-TTg号を公布
- 2014年 2014年7月30日付、ベトナム国家大学ハノイ校総長は日越大学の運営開始に向けた準備等を総括するプロジェクト運営管理委員会設立に関する決定第2589/QD-DHQHN号を承認
- 2015年 ベトナム国家大学ハノイ校と独立行政法人国際協力機構(JICA)が日越大学修士課程設立に関する技術協力プロジェクト実施に関する「実施協議合意書」(Record of Discussion: R/D)を締結
- 2015年 ベトナム国家大学ハノイ校とJICAが日越大学の6つの修士課程プログラム開設を承認
- 2016年4月29日 ベトナム国家大学ハノイ校総長が古田元夫教授を日越大学初代学長に任命
- 2016年9月9日 日越大学開校式及び2016-2017年期の開学式を開催
- 2016年3月31日 グエン・スアン・フック首相が日越大学の組織運営規定に関する決定書391/QD-TTg号を公布

役割

- アジアトップの研究大学を目指す優秀な人材の育成及び高度な研究プログラムの実施
- 日本の先進的な技術・知識の移転
- 日越両国の協力関係の促進
- ベトナム国家大学ハノイ校を含むベトナム高等教育制度に対し積極的な影響を与えること

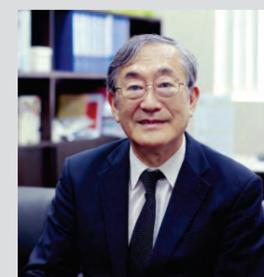
特徴

- ◇ 国際水準の新しい教育プログラム：
本校で実施するプログラムは、日本の強みである科学、工学及び経営学の分野です。また、日本の幹事大学と緊密に連携しながら研究を中心とした教育及び人材育成をおこなっていきます。
- ◇ 学際的かつ実践的な科学技術の提供：
本校は、社会の変化及び企業のニーズに応じて、学際的な教育、総合的な技術の開発、並びに日系企業や幹事大学と共同研究をおこないます。また、本校は日系企業のR&D拠点をベトナムに誘致することを目指しています。
- ◇ 国際的な教育環境：
本校では、日本基準に整備された日本方式の教育環境の中で、ベトナム、日本や世界中の科学者が共同で教育や研究活動を実施出来るような環境を提供します。そして、学生に対して自立学習・創造力や自由な発想及び広い視野が育つように学習環境を整備します。
- ◇ 多様な教員及び専門家チーム：
本校は激動するグローバル化時代の中で、学生、支援企業等に対し、最大のサポートを実施するために、各国の文化を深く理解できるリーダー、専門家及び教員の体制を構築すると共に、お互いに多様性を尊重しあい、創造性を促進するような環境の構築を行っています。

総長室



Vu Anh Dung
副学長



古田元夫
日越大学学長



Nguyen Hoang Oanh
副学長

目指す方向性

日越大学は、日本の大学をベースにベトナムの実状に応じて設計された新しいモデルの大学です。本校は、財政の自立と民間による投資を原則として、持続可能な発展及び自立した大学運営を目指しています。

本校の特色は、ベトナム国家大学ハノイ校の他傘下大学との連携、及び日本の幹事大学の積極的な協力による国際性があげられます。ベトナム政府が承認した大学運営規定に基づき、本校が一定の自主権を持つことが出来ます。また、日本とベトナム両国の代表として20名で構成される大学理事会は、日越大学の運営及び発展の方向性、さまざまな支援、及び大学の重要事項を決定する役割を担っています。

本校に開設された修士課程プログラムは、それぞれ日本の幹事大学による協力のもとに、運営されています。それぞれのプログラムは、ベトナム国家大学ハノイ校の強み及び日本の幹事大学の優位性を活用することにより、教育の質を担保します。これにより各プログラムは、日本企業やベトナム企業等との連携を実現することが可能になります。



日越大学・ベトナムと日本の友好関係の象徴

日越大学は日越両国政府から多大な支援を受けています。天皇皇后両陛下へ謁見を賜るとともに、日越両国政府高官に本校をご訪問頂きました。



日越大学関係者の天皇皇后両陛下への謁見

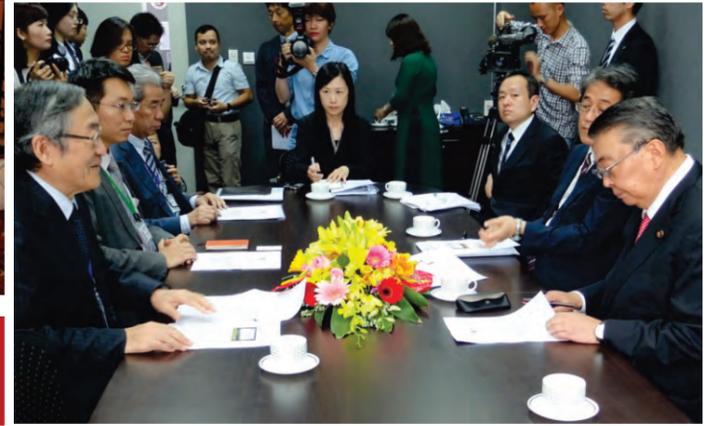
グエン・スアン・フック首相による日越大学訪問



安倍総理大臣による日越大学学長、副学長及び学生代表との面会



大島理森衆議院議長(当時)の日越大学訪問



2017-2018年 期の修士課程プロ グラムについて

概要

日越大学の修士課程プログラムは、ベトナムの社会と日本の企業が求める管理能力を備えた質の高い人材を育成するために、日本の幹事大学の協力を得て開設されました。

日越大学が選ばれる理由

- 国際的かつ先進的な学習環境
- 日本とベトナム両国の一流の教授陣による教育、共同研究を実施する機会
- 日本でのトップレベルである幹事大学の水準に近い教育プログラム
- 持続可能な開発を実現させるためのリベラルアーツの実現
- 日系企業での雇用機会及び提携する日本の一流大学の博士課程への進学機会
- 学費や日本でのインターンシップ費用の支援、及び優秀な学生に対する奨学金の付与

全教員の50%が日本人教員で構成されている教員陣、国際水準に基づく教室・図書室、自習やグループワークに快適な空間、及び学生のための福利厚生サービス。



現在開設されてい る修士課程プログラム

- 地域研究
- 公共政策
- 企業管理
- ナノテクノロジー
- 社会基盤
- 環境工学

また、2018年以降に下記の 修士課程プログラムを開設 する予定です。

- 気候変動・開発
- グローバル・リーダーシップ
- 農業と水産

気候変動・開発プログラム

目標:

国の発展に伴う気候変動分野に関する影響・脆弱性・対応・軽減策の他、国内、国際的なレベルでの対応に向けた学際的な基礎知識を修得します。学生は気候変動のメカニズム解明及び将来傾向に向けた予測・分析・影響評価をおこなうことができる基礎知識を修得します。更に気候変動の対応策・影響軽減策の提言・提案をおこなうための能力を修得します。

幹事大学: 茨城大学

地域と連携した教育、研究、社会貢献の実践と共に19の国・地域、59大学・機関と協定を結び、国際的視野をもった人材の育成をおこなっています。

学位: 気候変動修士号

卒業後の就職先:

卒業後、気候変動分野での起業、観光地・生物圏保護区・自然保護地、民間会社における気候変動分野を専門とした専門家、公共政策専門家、管理機関の決定を支援する専門家、社会政治組織・国際機関・政府組織・非政府組織における気候変動の専門家・管理者、研究機関や教育機関での職員・研究員。



マイ・トロン・ヌアン教授 (博士)
ベトナム国家大学ハノイ校
気候変動・開発修士プログラム
ディレクター



北 和之教授 (博士)
茨城大学
気候変動・開発修士プログラム
共同ディレクター

ナノテクノロジープログラム

目標:

ナノテクノロジー関連の高度な知識とスキルを修得します。また、物理学、化学、生物学、薬学、環境、エネルギーなどの分野におけるナノスケールマテリアルの応用研究を行います。更に、ナノテクノロジーの応用にかかる問題の把握・解決に必要なとされる社会科学を融合した学際的な知識も修得します。

幹事大学: 大阪大学

The Times Higher Education World University Rankings 2014-2015によるランキングでは、日本で4位、アジアで15位となっています。同大学は、三菱、パナソニック、シャープ、ダイハツなどの一流企業及びベンチャー企業が集まっている日本の製造業の発祥地である大阪市に位置します。

学位: ナノテクノロジー修士号

卒業後の就職先:

外資系企業、ナノテクノロジー企業などでの管理職、技術者、科学技術関連の研究機関、大学や行政機関での管理職・研究員・教員



グエン・ホアン・ロン教授 (博士)
ベトナム国家大学ハノイ校
ナノテクノロジー修士課程プログラム
ディレクター



渋谷 陽二 教授 (博士)
大阪大学
ナノテクノロジー修士課程プログラム
共同ディレクター



社会基盤プログラム

目標:

インフラプロジェクト、あるいは近代的な交通システムの計画、設計、施工監理、運営・管理に関する専門知識及びスキルを修得します。また、地域開発や都市インフラ整備の問題解決に必要な専門知識や分野横断的技術を修得します。

幹事大学: 東京大学

The Times Higher Education World University Rankings 2014-2015によるランキングでは、アジアで1位となっています。

学位: 社会基盤工学修士号

卒業後の就職先:

行政機関での管理職や専門家、国内外の大学や研究機関での教員・研究員、プロジェクト、企業、NGOなどでのプロジェクトマネージャー、品質管理者、主任技師等

公共政策プログラム

目標:

政策における問題を理解、評価した上で、国際化に対応した持続可能な開発のための政策プロセスの参画・実施・改善を行う際の知識とスキルを修得します。また、持続可能な開発の視点から、本プログラムは、経済学及びパブリック・マネージメントをベースに、国際統合・地域連携に伴う移行経済の特徴やニーズを考慮して設計されています。

幹事大学: 筑波大学

日本における最も歴史のある大学のひとつで、日本の大学トップ10に入っています。他の国立大学と比べ、同大学は国際化を重視しており、外国の学生並びに教員の比率が高く、筑波近辺にある国立研究機関やテクノロジー企業と緊密な連携をしています。

学位: 経済学修士号 (公共政策専攻)

卒業後の就職先:

中央及び地方にある行政機関、国際機関やNGOでの政策の分析・研究・策定に従事する職員、国内外で公共政策と開発を研究・教育する研究機関や大学での研究員・教員、その他の大学や研究所での教員・研究員



ゲン・ディン・ドゥック教授 (博士)
ベトナム国家大学ハノイ校
社会基盤修士課程プログラム
ディレクター



加藤 博徳 教授 (博士)
東京大学
社会基盤修士課程プログラム
共同ディレクター



ゲン・トゥイ・アイン博士
ベトナム国家大学ハノイ校
公共政策修士課程プログラム
ディレクター



辻中 豊 教授 (博士)
筑波大学
公共政策修士課程プログラム
共同ディレクター

環境工学プログラム

目標:

環境監理、評価、対策、予測に関する専門知識及びスキル並びに環境技術・環境工学関連の科学、物理学や生物学の知識を修得します。学生は環境処理技術の本質を深く理解し、その知識を実際に応用することができ、且つ現在、将来の環境にかかる問題の発見・解決に必要な知識及びスキルを修得します。

幹事大学: 東京大学及び立命館大学

東京大学は日本で最も有名な大学のひとつです。また、立命館大学は教育と研究の質の面において日本の私立大学トップ3に入っています。

学位: 環境工学修士号

卒業後の就職先:

研究機関、大学や行政機関での管理職・研究員・教員、環境処理関連施設やベトナムにある日系企業を含む外資系企業での管理職・運営管理

地域研究プログラム

目標:

地域研究 (日本研究 / ベトナム研究) における広範な専門知識を修得します。また、研究対象地域のアイデンティティや特徴、関連地域との関係性を理解するために比較学際的手法を活用し、研究対象地域の持続可能な開発に係る問題に対する解決策を提案します。

幹事大学: 東京大学

The Times Higher Education World University Rankings 2014-2015によるランキングでは、アジアで1位となっています。同大学は、6名の総理大臣やノーベル賞受賞者を含む優秀な人材を多数輩出しています。

学位: 地域研究修士号 (日本研究・ベトナム研究専攻)

卒業後の就職先:

大学や研究機関での教員・研究員、商社・サービス業者、日系企業を含む外資系企業、NGO



カオ・テー・ハ助教授 (博士)
ベトナム国家大学ハノイ校
環境工学修士課程プログラム
ディレクター



中島 淳 教授 (博士)
立命館大学
環境工学修士課程プログラム
共同ディレクター



ヴ・ミン・ザン教授 (博士)
ベトナム国家大学ハノイ校
地域研究修士課程プログラム
ディレクター



岩月 純一准教授
東京大学
地域研究修士課程プログラム
共同ディレクター

企業管理プログラム

目標:

国際ビジネス環境において広い視野および経営学における知識を修得し、グローバル化・国際統合のニーズに対応する組織能力や経営能力を備える事業者、経営者を育成します。

幹事大学: 横浜国立大学

日本における一流の国立教育機関のひとつで、国際共同研究を推進し、世界に多くの「知」を発信する大学として活動を展開しています。

学位: 企業管理修士号

卒業後の就職先:

企業家、事業主、国内外の企業・多国籍企業、特に日本の企業での管理職、行政機関、国際機関、外交機関、NGO、大学、研究機関



ファム・ティ・リエン博士
ベトナム国家大学ハノイ校
企業管理修士課程プログラム
ディレクター



松井 美樹教授
横浜国立大学
企業管理修士課程プログラム
共同ディレクター

日本語教育プログラム

日本語教育

日本語教育は、日越大学修士課程プログラムにおいて必修科目となっており、入学後の3セメスター期間中に履修する3コースで構成されています。

日本語教育プログラムは、そのカリキュラムの作成及び講義の実施を担い、日本の文化、習慣、教育についての更なる理解と、2年次に実施される日本におけるインターンシッププログラムのサポートを充実させるため、正規履修科目以外にも、各種補講を始め、日本人学生との交流や「日本語カフェ」といった特別な課外活動を学生に提供しています。

幹事大学

日越大学の日本語教育プログラムは、日本の私立大学の名門大学の一つである早稲田大学の協力により実施しています。

コースの到達目標

コース修了時の到達目標は以下の通りです。

- ・日常生活で用いられる基本的、定型的な日本語会話ができる。
- ・ごく身近なジャンルの内容について理解することができる。
- ・異文化に遭遇した時に、その社会習慣や慣習に見られる類似点や相違点を、異文化間理解の視点を持って理解することができる。
- ・異文化間コミュニケーションに対する文脈及び文化的な感覚を身につける。
- ・異文化間コミュニケーションを通し、他文化の価値に対する気づきと繊細さを養う。
- ・自律学習への補助としてオンライン学習ツールが効果的に活用できるようになる。



宮崎里司 教授(博士)
早稲田大学
日本語教育プログラム

修士課程プログラムの学費補助 ・奨学金制度

学費支援制度

日越大学修士課程プログラムに進学した学生を対象にした学費の支援を受けることができる支援制度があります。なお、修士課程プログラムの学費は75,000,000VND(約3,300米ドル)です。

奨学金制度

日本とベトナム両国政府の奨学金: 学期毎に優秀な成績をおさめた学生に対して、全額もしくは一部奨学金補助制度があります。第1セメスターの奨学金は入学結果に基づき決定され、次セメスター以降の奨学金は前期の成績結果に基づき決定されます。

民間会社の奨学金もしくは支援制度

- **ZENSHO奨学金制度:** ZENSHO奨学金制度の条件を満たす地域研究プログラム/日本研究の修士課程学生5名に2年間の奨学金290,000,000 VND(約1,400,000円)を補助します。
- **Nippon Steel奨学金:** ナノテクノロジープログラムの修士課程学生1名と社会基盤プログラムの修士課程学生1名の計2名に全額奨学金を補助します。
- 日本の民間会社・個人の後援により、20名の奨学金(全額もしくは一部)を補助します。

日本でのインターンシップ奨学金

修士課程プログラムで、総合評価が「良」・「優秀」の学生を対象に、日本での1~3か月間の研修費用を補助します。1名に対して、約110,000,000VND(約5,000米ドル)の費用補助をします。



募集情報

募集対象者:

日越大学へ入学する意思があり、かつ入学条件を満たすベトナム国民又は外国人

入学資格及び外国語能力:

- 大学の成績:「良」以上 (GPA \geq 2.5/4.0もしくは \geq 6.5/10)
- 英語能力:気候変動・開発プログラム、ナノテクノロジープログラム、社会基盤プログラム、環境工学プログラム、地域研究の修士課程プログラムに対し、6段階を最高とするベトナムの外国語能力評価制度で3/6以上、ないしは同等の資格(4.0-4.5 IELTS) 公共政策プログラムと企業管理プログラムの場合、ベトナムの外国語能力評価制度で4/6以上、ないしは同等の資格(5.0-5.5 IELTS)
- 日本語能力(地域研究プログラム/日本研究のみが対象):日本語能力試験JPLT二級若しくは同等の語学能力を保有(日本語の授業受け日本の大学を卒業、もしくは国内の大学の日本学学科を卒業)
- なお、各プログラムの入学資格に関する詳細な情報は、学務課までお問い合わせください。

募集方法及び選抜方法

募集情報:日越大学及びベトナム国家大学ハノイ校の情報ポータルサイト、又はその他のマスメディアを通してお知らせします。

選抜方法:日越大学及びベトナム国家大学ハノイ校の規定に基づき、書類審査と面接の2段階選考により合格者を決定します。

募集人員

各修士課程プログラムの募集人員は最大20名。

入学申込書

学務課にお問い合わせ頂くか、もしくは下記ウェブサイトからダウンロードできます。

ウェブサイトwww.vju.ac.vn www.vju.vnu.edu.vn

連絡先

日越大学・学務課

所在地: My Dinhキャンパス

Luu Huu Phuoc通り、My Dinh I、Nam Tu Liem、Hanoi

電話番号:(+84) (0)47-306-6001

メールアドレス: admission@vju.ac.vn

ウェブサイト:

www.vju.ac.vn

www.vju.vnu.edu.vn

科学技術活動

日越大学は、大学院研究レベルが教育全体の50%程度占める規模の最先端技術及び学際的な科学の研究大学になることを目指しています。この方針を念頭に、本校における研究活動は大学院教育プログラムと連携しながら実施しています。本校の研究活動は下記分野を中心に対応します。

- 持続可能な発展に向けたテクノロジー・技術開発
- サステナビリティ学
- 学際的ライフサイエンス
- 文理横断型科学
- グローバルな視野を持つベトナム学研究及び日本学研究

日越大学の科学技術研究活動は、日本の主要大学等の協力をはじめ、各協力大学及び国家大学ハノイ校の傘下大学と密接に提携して行われています。また、将来的には、共同研究や業務委託型で、研究開発(R&D)企業を中心に様々な民間会社と提携して開発、実施することをめざしています。2018年にはサステナビリティ学の研究センターが設立される予定で、特別に高い関心が集まっているこの分野の研究を体系的に発展させることが期待されています。



主要な活動

一般向け公開講座

日越大学では、さまざま分野の専門家と本校の教員や学生との架橋として、良好な関係の構築を目的に、関心のある人々を対象に定期的に公開講座を開催しています。

公開講座を通じて、ベトナム国内の若年層、特に日越大学の学生に対し、国際的な見識、経験のほか、視野の拡大、創造的思考、専門分野知識の習得、及び多文化等と接触する場として、有意義な機会を提供しています。



“「チャンス・挑戦・変化(Chances - Challenges - Changes)」VJUの学生へのメッセージ
武部勤 日越友好議員連盟特別顧問より
「日越大学の設立経緯について」セミナー”



“「リベラルアーツ研究教育は物質的価値と精神的価値のバランスを取る上で重要な役割を果たす」
下村満子 著名なジャーナリスト・作家・教育学者
「生き方塾・人生の根幹とは何か」セミナー”



“科学研究活動の主要な成功要因
・競争性が高いこと
・最も高い目標を設定
・一貫性
上田輝久 島津製作所代表取締役社長より
「科学技術を通じた社会貢献へ」セミナー”



“「リベラルアーツ研究教育は知識教育よりも知恵を育むものです」
朝倉 秀明 太平洋セメント株式会社ベトナム駐在員事務所長兼ギソン・セメント社長
根岸正実 インテージベトナム社長より
「リベラルアーツ教育」セミナー”



“「日系企業に求められる人材とは優秀な人ではなく、どんな状況でも適応できる人です。」
越村 敏昭 東京急行電鉄株式会社取締役相談役より
「日系企業は日越大学卒業生に何を期待しているか」セミナー”

テーマ別講座

教育プログラムの一環として定期的に講座を開催しています。テーマ別講座に参加することで、参加者は興味のあるスキルや経験を習得することができます。

- ・国内外の著名な教授・専門家等によるセミナー
- ・クリティカルシンキングのスキルを習得
- ・実践的な話を聞くことができます。



現場見学

実践的な知識を修得するために様々な現場見学が行われ、学生は現場で観察し学ぶことができます。現場見学は以下の活動があります。

- ・日本をはじめとする海外からの投資事業や日本の技術を導入した事業での現場見学
- ・各地方の企業及び公共機関の幹部との面会



研修制度

修士課程プログラムの学生は、日本での3ヶ月の長期インターンシップとベトナムにおけるベトナム企業や日系企業での短期研修に参加する機会があります。

研修期間中、学生は実践的な業務スキルを習得し、また、国際レベルの研究環境の中で学ぶことができます。



キャリアアドバイザー活動

学生のためのキャリア・オリエンテーションや就職活動についても力を注いでいます。就職活動に関わるセミナーや模擬練習を開催し、求人情報検索方法や日系企業との面接において、必要な自己PRのコツなどを習得します。この活動を通じて、卒業後に学生は自信をもって日系企業、研究機関等に応募する心構えが身につきます。



文化交流

文化交流活動を通じて、学生たちがグローバルな環境に必要なスキルを習得することや外国語能力を向上させる機会を得ることができます。



学生からの声



Nguyen Thanh Hai (グエン・タイン・ハイ)
ナノテクノロジープログラム

「日越大学について、私の第一印象は、学生の講義学習や研究活動に対する意欲を向上させるような施設を持っていることです。また、日越大学では、様々な学術関連の交流活動も重視されています。だからこそ、日越大学での勉強は、将来日本でより高度な勉強や研究に進むことを実現するための重要な基礎を身につけることができると確信しています。」



Bui Ha Phuong (ブイ・ハー・フォン)
企業管理プログラム

「GIST Startup Boot Camp Vietnamに参加した際、優勝したプロダクトをベトナムにおいて開発を進めるのか、それとも引き続き日越大学で勉強を続けるか、本当に悩みました。本校の潜在的な発展やMBA課程のメリット等を色々考えたうえで、最終的に本校への進学を決めました。私は、将来的にビジネス目標及び持続可能な社会発展の貢献が両立出来る会社を起業する夢を抱いています。」
** ブイ・ハー・フォンはGIST Startup Boot Camp Vietnamコンテストで最優秀賞を受賞しました。」



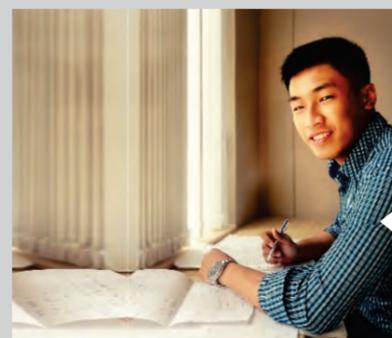
Nguyen Trong Tung (グエン・チョン・トゥン)
企業管理プログラム

「若者たちの良き相談相手になりたいという気持ちで、学生向けの新聞Hoa Hoc Tro紙に勤務しています。当社は、「学んで成長する。成長してリードする」をモットーに若い人たちと共に歩んでいます。現在、新聞業界は読者のニーズや志向の変化に伴い、大きく変化しています。このため、日越大学で企業管理について学び、ここで得た知識をもとに、多量から多様な刊行物の生産モデル「新聞社の革新的な管理」プロジェクトを立案し、ベトナムと世界の若者向けの刊行物及びメディア配信の多様化を実現したいと考えています。」



Luu Thu Hien (リュ・トゥ・ヒエン)
地域研究プログラム/日本研究

「国内の大学の日本学学科を卒業し、日本留学の経験もあったので、日本にいつも憧れていて、日本についてもっと深く勉強したいと強く思っています。日越大学での地域研究プログラム(日本研究)を選んだ理由として、日本語能力向上のほか、英語の勉強、そして日本に関する研究も実現出来る貴重な機会であると思ったからです。」



Trinh Duc Truong (チン・ドゥック・チュオン)
社会基盤プログラム

「日越大学の社会基盤プログラムの学生は、科学技術の面で世界のトップレベルの大学である東京大学と同様のプログラムで教わることができます。更に、日本とベトナム両国のトップレベルの教員の指導を受けることができ、学術研究を目指す学生にとっては理想的な学習環境だと思います。私にとっては、日本はとて特別な国であり、日本人の考え方や効率的な働き方を学ぶために日本で勉強したいと思っています。日越大学への入学は私の夢への第一歩だと信じています。」



Nguyen Quynh Nga (グエン・クイン・ガー)
公共政策プログラム

「日本は持続可能な政策が有名であり、その精神的価値が世界中に積極的な影響を与えました。日越両国間の協力の成果としては、本校は、ベトナム人及び他国の若者にとって様々な経験を獲得できる理想的で国際性に富む学習環境を作ってくれたことです。大学での2年間の間に、日本の学習方法及び日本経済発展の経験を学び、尊重すべき国民を育む秘訣を理解し、ベトナムのサステナビリティのためにやるべきことを見つけるように頑張ります。」



To Hoang Nguyen (ト・ホアン・グエン)
環境工学プログラム

「日越大学は、ベトナムと日本の2つ教育制度の優れている点を活かせる素晴らしい大学であり、さらに大阪大学、東京大学など数多くの有名大学と協力しています。環境工学プログラムについて調べたところ、プログラムの教育内容がベトナムの実環境に関わる実際問題に合致し、現在の環境問題のニーズを提案、解決できるものと思っています。本修士課程を卒業した学生たちの将来は有望だと確信しています。」



Pham Cam Van (ファム・カム・ヴァン)
環境工学プログラム

「私は、大学時代に国際教育プログラムに数多く参加したことで、世界に対する視野を広くすることが出来ました。そして、自分が教員の仕事に非常に興味を持っていることに気がきました。教員への道という夢のために、もっと専門性を高めなければならないという思いを強く持つようになりました。しかしながら、この目標を達成するためには、自分が正しい方向性を決める必要があるほか、適切な学習環境で正しい教育の理念や方向性のもと、国内外の先生から指導を受けながら勉強する必要があると思っています。そういう意味で、日越大学は母国を離れて海外で勉強しなくても夢を実現できる機会を与えてくれることを確信しています。」

日本側の主要支援機関

ベトナム国家大学ハノイの傘下大学である日越大学は、日本側の幹事大学や支援企業と豊富な提携ネットワークを構築していますが、今後、更に協力大学や支援企業・機関を拡大し、修士課程プログラムの学生のために研修や現場見学、学術交流の機会をより多く実現する努力を継続していきます。

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

2015年2月13日、ベトナム国家大学ハノイ校とJICAは2015～2020年の期間で、日越大学修士課程設立プロジェクトの実施にかかるRecord of Discussion (R/D)を締結しました。R/Dには、JICAが修士課程プログラムの設立、教職員の養成・研修、日本人教員の派遣を支援することが含まれます。当プロジェクトは2015年6月から開始し、日本の教育及び大学管理にかかる専門家の支援をおこなっています。

幹事大学一覧(五十音順)

国立大学法人 茨城大学

茨城大学は、1949年に設立され、「知識」の創造、蓄積、体系化及び移転を常に心がけています。同大学はこれまで様々な教育プログラムを実施し、世界の平和及び人類の幸福への貢献、自然との共生に向けた研究に最適な環境を整備してきました。また、社会の変化に対応するために改革を絶えず続けています。

茨城大学は、幹事大学としてカリキュラムの準備・実施、教員の派遣で日越大学の気候変動と開発修士課程の設立を支援しています。

国立大学法人 大阪大学

大阪大学は1931年に設立され、日本の優良大学トップ5に、世界の大学トップ75に入っており、理工系、医学系は、アジアトップランクの教育機関で、吹田、豊中、箕面及び中ノ島の4つのキャンパスを抱え、11学部・16研究科及び29研究所・研究センターから構成されます。また、同大学は、時代の要望に即応するために常にオープンな精神を持って、文系、理系から芸術系まであらゆる分野をリードしている、先進的な大学のひとつです。

国立大学法人 筑波大学

筑波大学は、日本の有名大学トップ10に入っており、最も歴史の長い(1872年設立)大学で、現在までノーベル賞受賞者を3名輩出しています。また、スポーツ分野においても、オリンピックで金メダル獲得選手を多く送り出しています。日本の他の国立大学と比べ、同大学は国際化を重視しており、外国の学生並びに教員の比率が高く、筑波近辺にある国立研究機関やテクノロジー企業と緊密な連携を取りつつ応用研究及び最先端研究に注力しています。

筑波大学は、幹事大学としてカリキュラムの準備・実施、日本人教員の派遣で日越大学の公共政策修士課程の設立を支援しています。



国立大学法人 東京大学

東京大学は1887年に設立され、日本のトップクラスの国立大学です。2003年から現在まで、ARWU (Academic Ranking of World Universities)のランキングで常に1位になっており、その歴史において6名の総理大臣及びノーベル賞受賞者を含む、優秀な人材を多数輩出してきています。同大学には2800名の教授・助教授が在籍し、研究の目的で毎年外国から約4000名の研究員が訪れています。また、現在、学生は約3万人在籍しており、そのうち留学生が2600人います(2015年現在)。

東京大学は、幹事大学としてカリキュラムの準備・実施、教員の派遣で日越大学の社会基盤修士課程、環境工学修士課程及び地域研究修士課程の設立を支援しています。



国立大学法人 横浜国立大学

横浜国立大学は、1949年に設立され、日本トップクラスの国立教育機関として様々な分野の学部、学科、研究科を備え、学部教育及び大学院教育に取り組んでおり、10学部、9研究支援・教育サービス支援センター、4研究科及び1研究所から構成されます。これまで日本の教育システムにおいて、世界の多くの大手教育機関・科学技術研究機関から信頼されているパートナー大学になっています。

横浜国立大学は、幹事大学としてカリキュラムの準備・実施、教員の派遣で日越大学の企業管理修士課程の設立を支援しています。



立命館大学

立命館大学は1869年に設立され、現在教育及び研究の質の面で日本の私立大学トップ3に入っており、The University of British Columbia、メルボルン大学、シドニー大学、香港大学、King College London など世界トップクラスの大学と緊密な交流関係をおこなっています。また、日本の多くの政治家や大手企業のCEOが立命館大学出身です。



早稲田大学

早稲田大学は、日本並びにアジアのトップクラスの私立大学です。同校の本部は北新宿に位置します。早稲田大学の政治経済学部は日本の社会で大きな影響力を持ち、戦後6名の総理大臣を輩出しています。また、Fortune Global 2007に掲載されている7名のCEOも同校出身です。更に、早稲田大学はUniversitas 21のメンバーになっています。

早稲田大学は、日越大学修士課程の共通科目である日本語教育のカリキュラム作成、コース運営、教員の派遣等の面から支援しています。





提携企業や 支援企業等



H.I.S. SONG HAN VIETNAM TOURIST

YUKO VIETNAM Co., LTD

KOKUYO VIETNAM TRADING Co., LTD

SUMIKO KATSUMI,

KURIHARA VIETNAM Co., LTD

ART TANGO CONFECTIONERY Co., LTD

MITSUI SUMITOMO INSURANCE Co., LTD

YOSHINOYA HOLDINGS Co., LTD

SEKISHO SCHOLARSHIP FOUNDATION

INTAGE VIETNAM LLC

SHIMADZU

ORGANO

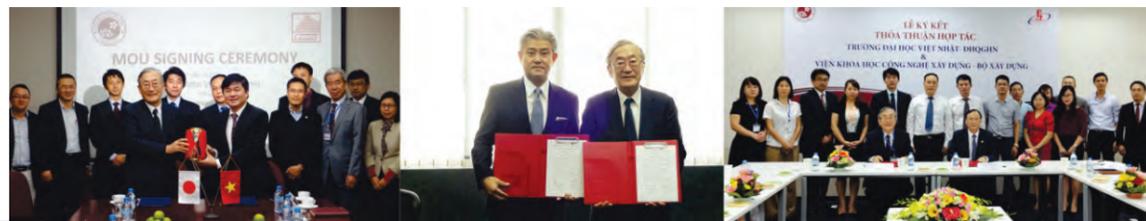
FUJINO KINZOKU Co., LTD

Consultant and Inspection JSC
of Construction Technology and Equipment (CONINCO JSC.)

建設省・建設技術局

Mr. KEIJI TAKEHARA (CEO), FUTURE DESIGN LAB Co., LTD

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL VIETNAM Co., LTD



キャンパス案内

My Dinhキャンパス

- 日越大学のMy Dinhキャンパスは2016年7月に開校しました。総面積が約2千平方メートルのMy Dinhキャンパスには、約150名の学生が在籍し、約60名の教職員が従事しています。また、学習・業務のニーズに対応するために講義室、自習室、コンピュータ室、図書室及び事務室等の施設が整備されています。
- My Dinhキャンパスは、国際水準に基づいて整備されたベトナム国家大学ハノイ校の学生寮から約300メートル離れたところに位置しています。
- プログラム内容のニーズに応じて、学生はベトナム国家大学ハノイ校及び協力関係のある他大学の研究室等を利用して実習・実験することができます。

Hoa Lacキャンパス

日越大学は、2024年にホアラク・ハイテックパークに隣接するベトナム国家大学ハノイ校の敷地内にキャンパスを建設する予定で、ベトナムの産学官の連携を代表する科学技術拠点として整備され、本校のメイン・キャンパスになる予定です。